

調査票F 委託費

		委託費(月次実績)										計						
		給食	検査	歯科技工	寝具	洗濯	清掃	機械保守	廃棄物処理	医事	その他							
診療部門	外来	循環器内科 呼吸器内科 … 人間ドック外来																
	病棟	救急救命センター 特定集中治療室 新生児特定集中治療室 総合周産期特定集中治療室 広範囲熱傷特定集中治療室 緩和ケア病棟 回復期リハ病棟 一般病棟1 一般病棟2 … 人間ドック																
		外来共通																
		入院共通																
		診療部門共通																
		診療部門合計																
		診療共通部門	薬剤部															
			中央放射線部	X線室 CT室 MRI室 RI室 血管造影室 その他の画像診断														
				中央臨床検査部	超音波室 内視鏡室 病理検査室 その他生体検査室 その他検査室													
					放射線治療室													
手術部																		
材料部																		
輸血部																		
透析部																		
リハビリ部																		
臨床工学部																		
給食部																		
診療共通部門共通																		
診療共通部門合計																		
補一般管理部門	総務部(人事・労務)																	
	医事部																	
	経理部																	
	医療情報部																	
	病歴管理部																	
	医療相談部																	
	地域医療連携部																	
	一般管理部門共通																	
	一般管理部門合計																	
	病院共通																	
病院部門合計																		
その他部門計																		
総合計																		

[補足] ※記入の際は、このテキストボックスを削除してください。
調査票F 委託費

■このシートは委託費(月次実績金額)を把握するための調査票です。

■明らかに病院が負担した委託費はこの調査票上に網羅されるようにしてください。

■可能な限り部署・組織を特定し、金額を入力してください。
 ◆給食費は給食部に直課してください。
 ◆検査費は各検査室に直課してください。
 ◆歯科技工は歯科に直課してください。
 ◆洗濯は職員比(調査票C)で各部署に配賦します。
 ◆清掃、機器保守は面積比(調査票I)で各部署に配賦します。
 ◆その他は発生部署に直課してください。

QA103に関して: 医事委託費は医事課に直課してください。
 QA104に関して: 委託検査費等は当該業務を管掌する部署に直課してください。
 QA38に関して: 業務委託の人員については委託費として計上し、極力当該業務を管掌する部署に直課してください。
 (委託業務の人員が調査票Cと重複しないようにしてください。)

■特定不可能なものは、部門共通、病院共通に金額を入力してください。
 QA100に関して: 部門共通、病院共通の委託費は、間接部門の直接部門への配賦基準によって配賦されます。
 診療共通部門のコストは1点当りコストを算出結果をもとに、患者に配賦されます。

		減価償却費(年度予算または前年度実績:月額換算)										計	
		建物	建物付属設備	建築物設備	医療用機械備品	車両船舶備品	その他機械備品	放射性同位元素	その他の有形固定資産	無形固定資産	情報システム		
診療部門	外来	循環器内科											
		呼吸器内科											
		...											
		人間ドック外来											
	病棟	救急救命センター											
		特定集中治療室											
		新生児特定集中治療室											
		総合産科特定集中治療室											
		広範囲燃傷特定集中治療室											
		緩和ケア病棟											
回復期リハビリ病棟													
一般病棟1													
一般病棟2													
		人間ドック											
診療共通部門	外来共通												
	入院共通												
	診療部門共通												
	診療部門合計												
	薬剤部	中央X線室											
		中央CT室											
		中央MRI室											
		中央RI室											
		中央血管造影室											
		中央その他の画像診断											
中央超音波室													
中央内視鏡室													
中央病理検査室													
中央その他生体検査室													
補一般管理	放射線治療室												
	手術部												
	材料部												
	輸血部												
	透析部												
	リハビリ部												
	臨床工学部												
	給食部												
	診療共通部門共通												
	診療共通部門合計												
補一般管理	総務部(人事・労務)												
	医事部												
	経理部												
	医療情報部												
	病歴管理部												
	医療相談部												
	地域医療連携部												
	一般管理部門共通												
	一般管理部門合計												
	病院共通												
病院部門合計													
その他部門計													
総合計													

[補足]※記入の際は、このテキストボックスを削除してください。

調査票G 減価償却費

■このシートは部署別の減価償却費を把握するための調査票です。年度予算または、前年度実績を月額換算(12で除す)した結果を入力してください。(今期に入り昨年と比較して大きな変動があるものについては、今期予算を1/12にするか、前年度実績に当該変動要素を反映するようにして、各大学の実態に近い金額にしてください)

■明らかに病院に係わる減価償却費はこの調査票上に網羅されるようにしてください。

■説明資料P6(5)の通り、可能な限り部署・組織を特定し、金額を入力してください。

◆医療機械備品、情報システム、その他は固定資産データを各部署に直課してください。
QA22について: 調査票E・賃借料の情報システムと重複しないようにしてください。
情報システムの減価償却費は、各システムの機能、利用者によって各部署もしくは当該部門共通に直課してください。
多目的のメインフレームやデータサーバーは医療情報部門としてください。

◆建物、建物付属設備、建築物設備は固定資産データを面積比率(調査票I)で各部署に配賦してください。
QA73に関して: 面積を求める場合、廊下等についても特定病棟のものと考えられるものは、当該部署に含めてください。

◆その他の有形固定資産償却費、無形固定資産償却費のうち、直接配賦することができない部分については各大学の判断により入力してください。

QA107について: 車両船舶備品償却費は病院共通に、放射線同位元素償却費は当該部署に直課してください。

■特定不可能なものは、部門共通、病院共通に金額を入力してください。
QA100に関して: 部門共通、病院共通の減価償却費は、間接部門の直接部門への配賦基準によって配賦されます。
診療共通部門のコストは1点当りコストを算出結果をもとに、患者に配賦されます。

調査票H 延べ患者数

		延べ患者				実患者			
		外来延べ患者数		入院延べ患者数		外来実患者数		入院実患者数	
		人・日	比率	人・日	比率	人・日	比率	人・日	比率
診療部門	外来	循環器内科							
		呼吸器内科							
	人間ドック外来								
	病棟	救急救命センター	循環器内科						
			呼吸器内科						
		特定集中治療室	循環器内科						
			呼吸器内科						
		新生児特定集中治療室	循環器内科						
			呼吸器内科						
		総合周産期特定集中治療室	循環器内科						
			呼吸器内科						
		広範囲熱傷特定集中治療室	循環器内科						
			呼吸器内科						
	緩和ケア病棟	循環器内科							
		呼吸器内科							
回復期リハ病棟	循環器内科								
	呼吸器内科								
一般病棟1	循環器内科								
	呼吸器内科								
一般病棟2	循環器内科								
	呼吸器内科								
	外来共通								
	入院共通								
	診療部門共通								
	診療部門合計								

[補足] ※記入の際は、このテキストボックスを削除してください。

調査票H 延べ患者数

■このシートは部署別の配賦比率(述べ患者数比)を把握するための調査票です。
QA86に関して:10月一ヶ月分の延べ患者数(DPC対象外も含む)を基本としてください。

■入院病棟については、各診療科別の患者数を入力してください。

■1人の患者さんが、同じ日に、同一外来診療科に複数回受診されても、延べ患者数は1人・日とカウントしてください。
同一日に2箇所の診療科で受診された場合は、2人・日となります。

QA23に関して:入院中に外来受診をした場合、可能な限り外来として扱ってください。分離不可能な場合は、入院の一部として扱ってもかまいません。

■外来共通、入院共通、診療部門共通に対する患者数の入力
は不要です。

調査票I 面積・病床数

		面積		病床数	
		m ²	比率	床	比率
診療部門	外来	循環器内科			
		呼吸器内科			
				
		人間ドック外来			
		救急救命センター			
	病棟	特定集中治療室			
		新生児特定集中治療室			
		総合周産期特定集中治療室			
		広範囲熱傷特定集中治療室			
		緩和ケア病棟			
		回復期リハ病棟			
		一般病棟1			
		一般病棟2			
	人間ドック				
	外来共通				
入院共通					
診療部門共通					
診療部門合計					
診療共通部門	薬剤部	中央放射線			
		X線室			
		CT室			
		MRI室			
		RI室			
	検査部	超音波室			
		内視鏡室			
		病理検査室			
		その他生体検査室			
		その他検査室			
	放射線治療室				
	手術部				
	材料部				
	輸血部				
	透析部				
リハビリ部					
臨床工学部					
給食部					
診療共通部門共通					
診療共通部門合計					
補助部門	総務部(人事・労務)				
	医事部				
	経理部				
	医療情報部				
	病歴管理部				
	医療相談部				
	地域医療連携部				
	一般管理部門共通				
	一般管理部門合計				
	病院共通				
病院部門合計					
その他部門計					
総合計					

[補足]※記入の際は、このテキストボックスを削除してください。
調査票I 面積・病床数

■このシートは部署別の配賦比率(面積比、病床数比)を把握するための調査票です。

QA73に関して:面積を求める場合、廊下等についても特定病棟のものと考えられるものは、当該部署に含めてください。

外来入り口、受付・会計付近のスペースは外来共通に含めてください。外来共通廊下は当該階にある各部署の患者数で按分してください。
 病棟エレベータの各階エレベータホールは当該階の病棟の面積に含まれます。等の考え方で算定してください。

勘定科目	月次実績	勘定科目	月次実績
Ⅰ 入院料収益 (記入不要)		I 給与費	
Ⅱ 入院診療収益 (記入不要)		1 常勤給与費 (記入不要)	
Ⅲ 室料差額収益 (記入不要)		(1) 医師給 (記入不要)	
Ⅳ 外来診療収益 (記入不要)		(2) 看護婦給 (記入不要)	
Ⅴ 保健予防活動収益 (記入不要)		(3) 医療技術員給 (記入不要)	
Ⅵ 医療相談収益 (記入不要)		(4) 事務員給 (記入不要)	
Ⅶ 受託検査・施設利用収益 (記入不要)		(5) 技能労務員給 (記入不要)	
Ⅷ 保険等査定減 (記入不要)		2 非常勤給与費 (記入不要)	
合計 0		(1) 医師給 (記入不要)	
Ⅰ 受取利息配当金 (記入不要)		(2) 看護婦給 (記入不要)	
Ⅱ 有価証券売却益 (記入不要)		(3) 医療技術員給 (記入不要)	
Ⅲ 患者外給食収益 (記入不要)		(4) 事務員給 (記入不要)	
Ⅳ その他の医療外収益 (記入不要)		(5) 技能労務員給 (記入不要)	
合計 0		3 退職給与引当金繰入 (記入不要)	
Ⅰ 支払利息 (記入不要)		4 法定福利費 (記入不要)	
Ⅱ 有価証券売却損 (記入不要)		II 材料費	
Ⅲ 患者外給食費用 (記入不要)		5 医薬品費	
Ⅳ 診療費減免 (記入不要)		(1) 投薬用薬品	
Ⅴ 貸倒損失 (記入不要)		(2) 注射用薬品	
Ⅵ 雑損失 (記入不要)		(3) 検査用試薬他 その他(消毒薬他)	
合計 0		6 給食用材料費	
		7 診療材料費	
		8 医療消耗器具備品費	
		III 経費	
		9 福利厚生費	
		10 旅費交通費	
		11 職員被服費	
		12 通信費	
		13 消耗品費	
		14 消耗器具備品費	
		15 車両費	
		16 会議費	
		17 光熱水費	
		18 修繕費	
		19 賃貸料	
		20 保険料	
		21 交際費	
		22 諸会費	
		23 租税考課	
		24 徴収不能損失	
		25 雑費	
		IV 委託費	
		26 検査委託費	
		27 科技工委託費	
		28 搬送委託費	
		29 消毒委託費	
		30 清掃委託費	
		31 器械保守委託費	
		32 滅菌委託費	
		33 給食委託費	
		34 その他委託費	
		35 医事委託費	
		36 廃棄物処理委託費	
		V 研究研修費	
		35 研究材料費	
		36 謝金	
		37 図書費	
		38 旅費交通費	
		39 研究雑費	
		VI 減価償却費	
		40 建物減価償却費	
		41 建物付属設備償却費	
		42 構築物設備償却費	
		43 医療用器械備品償却費	
		44 車両船舶備品償却費	
		45 その他の器械備品償却費	
		46 放射性同位元素償却費	
		47 その他の有形固定資産償却費	
		48 無形固定資産償却費	
		49 情報システム減価償却費	
		VII 本部費	
		49 本部費	
		VIII 役員報酬	
		50 役員報酬	
		合計	

[補足] ※記入の際は、このテキストボックスを削除してください。

調査票J 収益・費用(月次損益計算書)

■このシートは月次損益計算書の主に病院全体の費用を把握するための調査票です。

■明らかに病院が負担した費用はこの調査票上に網羅されるようにしてください。

■病院のコストか大学のコストか判別が困難なものについては、説明会資料P5(3)、P6(5)の手順に従ってください。(以下抜粋)

・車両費、会議費、交際費、諸会費、租税公課等の経費、および研究研修費で不明な部分は、
 教員比率＝病院における臨床登録医師数[調査表Aの所属人数] / (基礎系教員数＋病院登録医師数)
 で病院に按分します。

・雑費等の経費で不明な部分は、
 教職員比率＝病院における人員数 [調査表Bの人員数: 臨床登録医師数＋臨床系職員] /
 (基礎系職員数＋病院における人員数)
 で病院に按分します。

■研究研修費の中の旅費交通費は、当該部署(大学、病院)に直課してください。
 直課できない場合は、
 教員比率＝病院における臨床登録医師数[調査表Bの所属人数] / (基礎系教員数＋病院登録医師数)
 で病院に按分します。

なお、教職員の一般の旅費交通費は、Ⅲ.経費10.旅費交通費に入力されます。研究研修費の中の旅費交通費と重複しないようご注意ください。

QA123に関して: 経費の項目の中に別途収入で補填されるものや、教職員からの会費等で補填されるもの(寮費、新聞代等)は、純額で入力してください。

QA124に関して: 「臨床(病院)に係わる研究研修費」は、自病院の患者に対する医療行為を伴う研究研修の費用と考えてください。

QA24に関して: 看護師募集にかかる費用等、通常の経理処理で経費として算定されているものでも、明らかに病院以外(この場合は、看護専門学校)に係わる経費等は病院の経費としないください。

QA42に関して: 調査票間の材料の表現を統一するため、調査票Dの薬品を投薬用、注射用、検査用薬品に分けました。

「消耗器具備品」(医療用以外)は、調査票J・経費の消耗器具備品に該当します。
 QA102,134に関して: 調査票間の委託費を統一するため、調査票Eに「滅菌委託費」、調査票Jに「医事委託費」、「廃棄物処理委託費」および「情報システム減価償却費」を追加しました。

■本部費、役員報酬等、法人事務局に関わるコストについて(QA59,72)
 説明会資料P6(7),(8)にあるように、法人事務局に関わるコストは、その機能に応じて、幹部室、法務部、経理部等の各部署に配賦してください。

残分は、下記の3つの方法のうちから、各病院が実態に合わせて選択してください。

- ①独自の区分を設定し計上する。
- ②管理間接部門の総務部に含めて計上する。
- ③病院共通に計上する。

■病院共通のコストは、間接部門の直接部門への配賦基準によって配賦されます。
 一旦診療共通部門に配賦されたコストは1点当りコストを算出結果をもとに、患者に配賦されます。

調査票K

入院・外来別点数・回数一覧

診療行為区分	データ区分		外来		入院		合計		紐つけ組織例
			回数合計	点数合計	回数合計	点数合計	回数合計	点数合計	
検査 D000~D028 D100~D105 D206 D295~D324 その他のD	60	検体検査 病理学的検査 心カテ検査 内視鏡検査							中央臨床検査部 一般検体検査室、その他検査室 病理学的検査室 血管造影室(心カテ) 内視鏡検査室 細菌検査室、生理検査室、 特殊検査部門(聴力、視力検査等)
画像診断 E000~E004 E100~E102 E200~E201.E203 E202 E215 その他のE	70	X線検査 RI検査 CT検査 MRI検査 超音波検査							中央放射線部 X線検査室 RI検査室 CT検査室 MRI検査室 超音波検査室(エコー) 血管造影室(その他)
投薬 F000~E500	21~27								薬剤部(服薬指導、その他)
注射 G000~G200	31~33								薬剤部・病棟
リハビリ H000~H100	H%								リハビリ室
処置 J000~J300	40								病棟
手術 K000~K950	50								手術室 (輸血室)
麻酔 L000~L300	54								手術室
放射線治療 M000~M004	M%								放射線治療室
その他									特殊治療室 (結石破碎室、温熱療法室など)

[補足] ※記入の際は、このテキストボックスを削除してください。

調査票K 入院・外来別点数・回数一覧

■このシートは、技術料が特定できる病棟、手術室、検査室等の部署別の経費を技術料1点当り経費に換算するために使用します。

点数表コード(診療行為)を元にFファイルの「行為明細点数」を部署別、入院・外来別に点数・回数を集計し、記入してください。

■E、Fファイルの作成範囲が、医療保険対象症例データだけに限定されている場合は、医事会計システムの情報を使用し、自賠責、公害等も含んだ病院全体の全診療行為を対象に集計をしてください。